



# 振興会だより

富山県立にいかわ総合支援学校  
教育振興会

## No.28

### 「あいさつ」



にいかわ総合支援学校  
教育振興会  
会長 横山 栄

今年の桜は、例年に比べ咲き始めも満開も大変早く迎え、花見も早まったのではないかと思っております。梅雨時期まで、北陸においては一年で最も過ごしやすい季節と言われております。コロナ禍も収まりつつある中、皆様におかれましてもご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。先日入学された新入生の皆さんも少し学校に慣れてきたところかと思えます。

さて、富山県教育委員会では、令和四年三月「富山県特別支援教育将来構想」を策定されました。特別な教育的支援が必要な子供や保護者を社会全体で支え、一人一人が輝き社会で活躍できるための構想です。障害が多種多様であり、それぞれの児童生徒に合った教育が行われなければなりません。この構想の最初の方に『子供一人一人が、達成感をもって学び、それぞれの可能性を最大限に伸ばすための多様な学びの場を整備するとともに、子供たちが互いを理解し、共に学び合うことを大切にします。』とあります。私たち教育振興会も、共に手を取り合って努力していかねばなりません。

ところで、私がこの会の会長をお引き受け致しましてから、早や二十年余りが経過いたしました。私は先日行われました富山県議会議員選挙に立候補致しませんでした。その結果会長としての任期は、今年一年を残すのみとなっております。任期終了まで精一杯努力する所存でありますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

### 「楽しいと思える学校に」



校長 岩城 圭一

新年度に四十四名の新入生を迎え、全校児童生徒一五九名のにいかわ総合支援学校は、元氣よくスタートをきることができました。初めての学校、新しい学年、新しい友だち、新しい先生との出会いから二週間ほど経ち、日に日に児童生徒の緊張もほぐれ、「おはようございます」「こんにちは」と元氣な声がかえってくるようになり、本當にうれしい限りです。

三年ほど続いた「コロナ禍」も、この五月には感染症の分類が五類に引き下げられる予定で、教育活動もやっとなりつ戻りつつあります。これまで多々支障がありましたが、今年度は日々の授業や学校行事等、通常通り実施できればと願っております。

今年度、本校は創立四十周年を迎えることとなりました。昭和五十八年、にいかわ養護学校設置から続く『明るく、仲よく、元氣よく』の校訓にのっとり、「自立と社会参加を目指し、明朗で協調性に富む、健全な児童生徒を育成する」ことを教育目標に掲げ、児童生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばせるよう、教育的ニーズに応じた教育活動を教職員一同で力を合わせ取り組んでまいりたいと思えます。

これからも地域の皆様との連携はもとより、地域に根ざし開かれた学校であり、児童生徒が「また行きたい、楽しい」と思える学校づくりを推進していきたいと考えていますので、教育振興会の皆様方には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 「あたたかな交流を目指して」



PTA会長 岡崎 恵

PTA会長を仰せつかりました。至らぬ点もあるかと思いますが、精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

さて、PTAとして、子供たちの学校生活にどのように関わっていかねばならないか考えたとき、金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」という詩が浮かびました。「みんなちがってみんないい」の一説が有名なこの詩は、「私が両手を広げても お空はちつとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように地面(じべた)を速くは走れない」から始まります。この詩には「空を飛ぶことはできる小鳥はすてき。飛べないけれど、速く走れる私もすてき。」という互いの違いや良さを認めるような優しさがああります。「お互いできないことがあっても、別々のことができることがあつてすてき」「だから私は私でいい」「あなたはあなたでいいんだよ」という温かさを感じます。当然のことですが、子供たちにはそれぞれに、できること、苦手なこと、好きなこと、嫌いなことがあります。苦手なことを教えるのではなく、「こんなことができるあなたですてき」と伝えていけるような、温かな交流をPTAとして目指していきたいと思えます。

PTAの活動が、子供たちにとって、よりよい学校環境をつくる一助となりますよう、教育振興会の皆様、先生方、保護者の皆様のお力をお借りして活動してまいります。ご多用のことと存じますが、今後とも引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 生徒が自己を見つめ、主体的に 進路を考えていくために

前高等部主任 大倉 智美

昨年度、高等部では、卒業後の生活を見据え、六月と十一月に行われる就業体験、校内実習期間中、一限は「自分の体調把握」、二〜五限は「作業（企業や学校から委託された作業）」、六限は「余暇につながる活動（選択して活動）」に取り組みました。

事前学習では、自分の課題を見つめ直して、生活や働くことに関する目標を決めました。事後学習では卒業後の生活をイメージして自分の生活や体調管理、働くこと、余暇等を考えるワークシートを用いたの振り返りや教師との面談を行いました。

今年度も、生徒が自分を振り返る機会を設定し、自分の良さや課題を知り、自分は何ができるか、今どのような力が必要か等に気付き、進路について考えていくよう支援していききたいと思います。

## 互見授業週間の実施

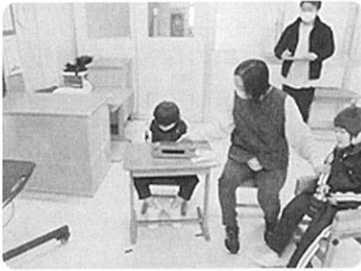
前研修部主任 池田 弘紀

本校では、令和三年度より、「互見授業週間」を実施しています。「互見授業」とは、教員が互いに

日頃の授業を気軽に見合う取り組みです。他者の授業を参観することで、その授業者の優れた指導方法や参

考にすべき点を自身の指導や支援につなげるとともに、児童生徒の確かな学びにつ

いて考えることをねらいとしています。昨年度も、十月に約二週間実施しました。



若手教員からは「先輩教員の児童生徒に対する接し方や姿勢に学ぶことが多かった」「教材や教具等をぜひまねたい」、先輩教員からは「若手教員のICTの活用の仕方が参考になった」といった声が聞かれました。今後も、同僚の教員と共に支え合い学び合いながら、児童生徒がわくわくするような授業づくりを目指していきたいと考えています。

## 書籍に触れる機会を増やしたい 学習や余暇活動につながるように

情報図書部 前図書主任 山崎 やよい

手軽な電子機器が身近にある中、調べ学習や余暇に書籍を手にとってもらえるように、書籍に親しむ機会に取り組みしました。昨年度は、学校図書館司書の来校日に合わせて、読み聞かせやBOOK TALKという図書の紹介活動を行いました。



児童生徒の興味関心のあるテーマについて、司書から学校内にない書籍も含めて紹介していたことで、読み聞かせに聞き入ったり紹介された本を手にとったりする様子が見られました。

また、委員会では、書籍を利用した数に応じ、しおりのプレゼントや認定証の発行を行いました。引き続き、読書活動を広げる活動に取り組んでいきたいと思えます。

ご自宅でもテレビやタブレット端末を消して、一緒に読書タイムを過ごしませんか。きつと豊かで温かな時間をもてると思います。

## 【令和5年度 主な行事予定】 (変更の場合あり)

- |                           |                             |
|---------------------------|-----------------------------|
| 5月20日(土) 運動会(午前)          | 9月14日(木)~15日(金) 修学旅行〈高等部3年〉 |
| 5月21日(日) 障害者スポーツ大会(陸上)    | 9月21日(木)~22日(金) 修学旅行〈中学部3年〉 |
| 6月1日(木) 学校公開DAY(午前)       | 9月28日(木) 学部体験学習〈中学部 内部生〉    |
| 〈小1・2 中1・2 高2・3〉          | 9月29日(金) 学部体験学習〈高等部 内部生〉    |
| 6月2日(金) 〈小3・4 小5・6 中3 高1〉 | 10月20日(金) 創立40周年記念式典(午前)    |
| 6月5日(月)~23日(金) 就業体験〈高等部〉  | 10月21日(土) 学習発表会(午前)         |
| 6月7日(水)~20日(火) 校内実習〈高等部〉  | 11月6日(月)~29日(水) 就業体験〈高等部〉   |
| 6月14日(水) 学校見学会〈中学部〉(午前)   | 11月8日(水)~21日(火) 校内実習〈高等部〉   |
| 6月15日(木) 学校見学会〈小学部〉(午前)   | 11月14日(火) 学校公開DAY(午前)       |
| 6月16日(金) 学校見学会〈高等部〉(午前)   | 〈小1・2 中1・2 高2・3〉            |
| 8月9日(水) 学部体験学習〈中学部 外部生〉   | 11月15日(水) 〈小3・4 小5・6 中3 高1〉 |
| 8月18日(金) 学部体験学習〈高等部 外部生〉  | 2月17日(土) 学習参観               |
| 8月23日(水) 学部体験学習〈小学部〉      | 3月(日は未定) 卒業証書授与式            |